

2024年度入学式式辞

花咲く春を迎え、ご来賓ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛のうちに近江兄弟社中学校入学式を執り行うことができますことは、本校にとりまして、誠に大きな喜びであります。ご臨席の皆様に 高いところからではありますが、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

只今、一人ひとり名前を呼ばれ、入学を許可された100名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心から皆さんを歓迎いたします。

今、新しいスタートラインに立っている皆さんに本学園が大切にしていることをお伝えしたいと思います。

先ほど読んで頂いた聖句を元に、「地の塩・世の光」を本校の学園訓としています。私たち教職員はこの言葉を心に刻み、日々の教育に当たっております。新入生の皆さんにもこの学園訓の意味をお伝えし、これから近江兄弟社中学校で学ぶ中で、その意味を意識して充実した3年間の学校生活を送るとともに、人生の指針としてほしいと思います。

聖書には「あなた方は地の塩である。あなた方は世の光である。」と書いてあります。「地の塩である。」「世の光である。」と言い切っています。塩や光はこの世の中に無くてはならないものの象徴として書かれています。つまり、学園訓「地の塩・世の光」は皆さん一人一人は無くてはならない存在、かけがえのない存在なのだという宣言の言葉であり、学園教育の根幹をなす理念です。ここに集う新入生の皆さん、あなたは100分の1の存在ではなく、1分の1、唯一無二の存在なのです。これが学園訓が示す一つ目の意味です。

そんなみなさん一人ひとりが尊重されるよう、ヴォーリズ学園では「いのちを大切に教育」を教育の中心に据え、日々の教育活動を行っています。みなさんにとって学校が「安心安全である」「尊重される」「居場所がある」場となるようにみんなで力を合わせます。そして一人ひとりが「つながる力」「自分を大切にできる力」「相手を大切にできる力」、「聴く力」「伝える力」「考える力」そして「助けを求める力」「立ち直る力」「挑戦する力」を身につけ自身の安心安全を創り出す努力を重ねていきます。

皆さんは、塩や光にはどんなイメージがありますか。塩は料理の味付けにとって欠くことのできないものです。また塩は防腐剤として利用されていました。光は周りを照らす、人の心を明るくする、導く役割を果たします。このように塩や光にはそれぞれの特性があり、役割があります。それと同じように、皆さんには一人ひとり、あなただけにしかない良さ、賜物があるのです。これが学園訓が示す2つ目の意味です。

皆さんの賜物は塩のように「ひと味」加える、周りを引き立たせるものでしょうか。また光のように人をホッとさせたり、人の足下を照らし導くものでしょうか。みなさんに備えられた良さは多様で、それぞれ違います。多様でそれぞれに違いがあるからこそ、みなさんそれぞれが、きっと誰かの役に立つ存在となることができるのです。近江兄弟社中学校での学びを通して、皆さん一人ひとりの賜物を見つけ、磨いていってほしいと思います。

中学校には様々な「学び」があります。学習を通して、新しいことに気付いた

り、できなかったことができるようになったり、理解が深まっていくことは大きな喜びです。また、自信が持て、興味関心が広がり、さらに多くのことを知りたいという意欲にもつながります。「学び」は学習だけではありません。学校行事やHR活動、クラブ活動であったり、学校生活のあらゆる場面で学ぶことがあります。それぞれの場面で友だちや先生と関わり、協力することで自分一人では知ることができなかった多くのことを学びます。多様な考えや思いに触れることは、さらに自分自身について深く知ることにもなります。

塩をそのまま食べることは滅多にありません。塩は自ら溶けることによって、様々な役割を果たします。また口ウソクは自分の身を溶かし削って、その光で人や周りを照らします。塩も光も「他者のため」のあり方を示しています。自分のためだけでなく、他者のために労を惜しまず働いたり、時間を使ったり、心を配ったりできる人になって下さい。これが、学園訓の示す3つ目の意味です。学園が育てたい人物像を示すものです。

皆さん一人ひとりかけがえのない大切な存在です。

皆さんには一人ひとりあなただけにしかない良さ、賜物があります。

皆さん、他者のために自分の力や時間を使う人になって下さい。

このように、学園訓にこめられた意味を心にとめ、これからの中学校生活を皆で充実したものにしていきましょう。さあ、今日、出会った仲間達と共に、新しい一歩を踏み出しましょう。

終わりにになりましたが、保護者の皆様方、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。今日から三年間、お子様の健やかな成長を願って、教職員一同、力を合わせて、教育に打ち込んでまいります。本校が、お子様にとって、「安心の場」であり、「成長の場」となり、そして「未来につながる場」となるよう、努力してまいります。ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞いたします。

2024年4月8日
近江兄弟社中学校
校長 中島 薫